

解答はすべて解答用紙に書きましょう。

**問題 1**

あきらさんは、夏休みに旅行をしたときに興味をもった方言について、朝の会でスピーチをすることになりました。そのため、本やインターネットで調べたことを整理しながら、スピーチの内容を考えています。下の文章は、あきらさんが【**読んだ本の一部**】とスピーチの【**組み立てメモ**】です。これらを読んで、あとの問い(1)～(5)に答えましょう。

**【読んだ本の一部】**

日本では北の北海道・東北地方から南の沖縄地方にいたるまでの間に、さまざまなことばが使われています。東京地方で生まれ育った人が青森や鹿児島や沖縄に行くと、土地の人どうしのお話を聞いたとしても、何をいっているのかほとんどわからないでしょう。このような、土地の人どうしが日常生活の中で話をするときに使われることばを方言といいます。

方言は、そこに住んでいる人たちのくらしや感じ方と、深く結びついて使われてきました。その土地に生まれ育った人たちどうしが方言で話すと、おたがいの気持ちがうちとけて、よく心が通じあいます。

現代では、ラジオやテレビの発達によって共通語が全国に広がり、方言がしだいになくなりつつあるといわれています。しかし、ことばのアクセントや文法的な特色、また、日常生活でよく使われる基本的な単語については、方言が使われ続けています。若い人たちの間には、新しい方言さえ生まれているのです。

わたしたちが地方を旅行したとき、土地の人たちとことばが通じなくてこまるということはほとんどありません。それは、その土地の人がよその土地の人と話するときには、共通語を使っているからなのです。

むかしは、方言だけを使っているだけでも、それほど不便はありませんでした。しかし、今日のように、交通がさかんになって、人々がいろいろな地域に出かけたり、いろいろな地域で生まれ育った人々がいっしょに生活したりするようになると、日本全国どこの地域にも通じることばが必要になります。日本じゅうどこへ行っても通じることばを共通語といいます。

現代は、方言と共通語の使い分けの時代です。むかしとちがって、方言しか話せない人はほとんどいなくなりました。お年寄りも若い人も、方言と共通語とを、話す相手や場面に合わせて、上手に使い分けています。

(監修・指導：佐藤亮一『方言をしらべよう⑩絵で見る方言地図』から)

**【組み立てメモ】**

始	○方言に興味をもった理由 立ち寄った店で、「暑かね。」という聞き慣れない言葉を耳にした。
中	○方言の意味 地方で使われている独特の言葉で、アクセント、発音、文法などがふくまれる。  ○方言の歴史 <b>ア</b> 平安時代には、京都の貴族社会で使われていた言葉が理想と考えられ、地方で話されている言葉とは区別されていた。 <b>イ</b> 江戸時代には、よその藩との交流があまりなかったもので、藩ごとに異なる言葉が生まれた。 <b>ウ</b> 奈良時代に編まれたと言われる『万葉集』には、東国の方言をふくんだ和歌がのっている。  ○山口県の方言 ・ 年齢を問わずよく使われる方言に、『ちよる』がある。 ・ <u>方言は、書き言葉として使われることはあまりないが、山口県の方言には、『幸せます』のように、書き言葉としてもよく使われる方言がある。</u>  ○方言のよさ 方言には、 <b>A</b> というよさがある。  ○共通語が必要になった理由 共通語が必要になったのは、 <b>B</b> になったからである。
終	○まとめ 方言と共通語とを、 <b>C</b> が大切である。

(1) あきらさんは、「編まれた」という言葉の意味を調べることにしました。国語辞典では、どのような言葉にして調べるとよいでしょうか。調べるときの言葉をひらがなで書きましょう。

(2) あきらさんは、【**組み立てメモ**】の「方言の歴史」として書いた**ア～ウ**について、時代の古い順に話すとよいと考えました。古い順になるように、**ア～ウ**の記号を並べましょう。

(3) あきらさんは、【**組み立てメモ**】の「方言は、書き言葉として使われることはあまりないが、山口県の方言には、『幸せます』のように、書き言葉としてもよく使われる方言がある。」を二つの文に分けて書き直すことにしました。二つの文に分けたときの後の文の、始めの10文字を、文と文をつなぐ言葉をふくめて書きましょう。

(4) あきらさんは、【**組み立てメモ**】の**A**には「方言のよさ」を、**B**には「共通語が必要になった理由」を書くことにしました。あとの問い**ア**、**イ**に答えましょう

**ア** 【**読んだ本の一部**】から「方言のよさ」について書かれている文をぬきだし、その文を**A**の後の「というよさがある。」につながるように直して書きましょう。

**イ** 「共通語が必要になった理由」について、**B**の中に入る適切な内容を、【**読んだ本の一部**】から60字以上70字以内でぬきだして書きましょう。

(5) あきらさんは、スピーチのまとめとして話すことを、【**組み立てメモ**】に書くことにしました。**C**の中に入る適切な内容を、【**読んだ本の一部**】に書かれていることをもとに、書きましょう。

問題 2

ロンドンオリンピックを見て、オリンピックに興味をもったようこさんは、**図1**の夏季オリンピック開催地の地図を見つけました。次の文章は、**図1**を見ながら話をしている、ようこさんと友達のはるみさんの会話の一部です。文章を読んで、あとの問い(1)～(4)に答えましょう。

ようこ：夏季オリンピックの開催地は、北半球にある都市が多いのよ。  
 はるみ：南半球で夏季オリンピックが開催されたのは、(あ)の2つの都市だけなのね。  
 ようこ：次の開催予定地のブラジルのリオデジャネイロは、(い)では初めての開催地になるね。  
 はるみ：リオデジャネイロは、(う)に面しているのね。どなたところなのかな。  
 ようこ：日本とは、気候もちがうんじゃないかしら。  
 はるみ：じゃあ、今度、**a** リオデジャネイロの気候を調べてみようよ。  
 ようこ：わかったわ。わたしは、**b** 日本とブラジルの結びつきについても調べてみたいな。ところで、わたしは、ロンドンオリンピックでの選手のインタビューを見て感動したわ。  
 はるみ：ようこさんは、どんなインタビューが心に残っているの。  
 ようこ：**c** 「多くの人に支えられてオリンピックに出場することができました。」と話していた選手のインタビューが心に残っているわ。

図1 夏季オリンピック開催地

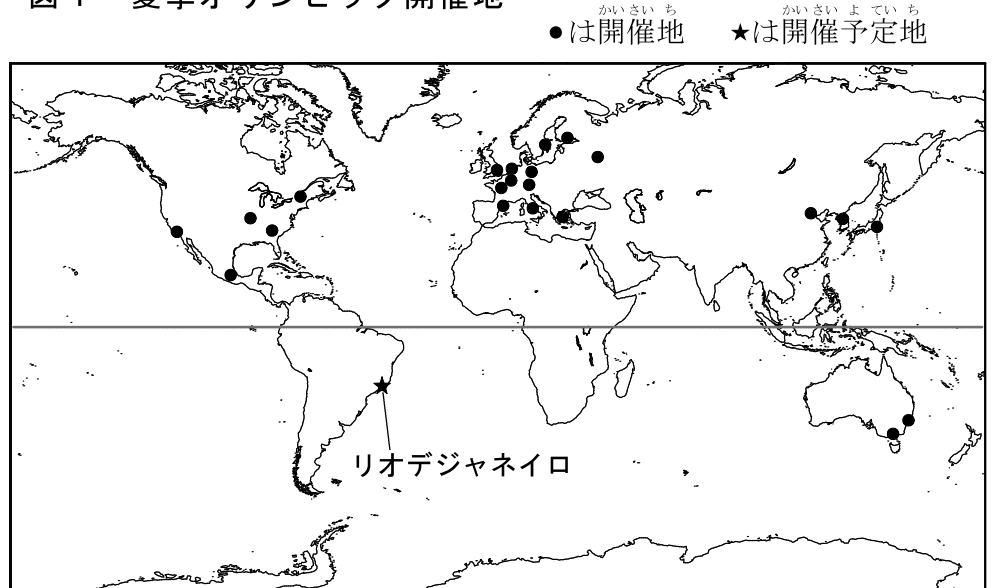
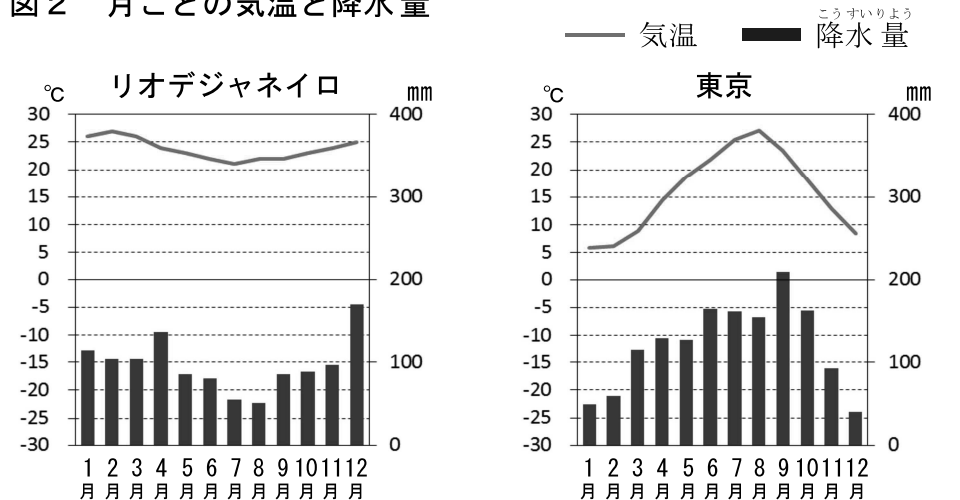


図2 月ごとの気温と降水量

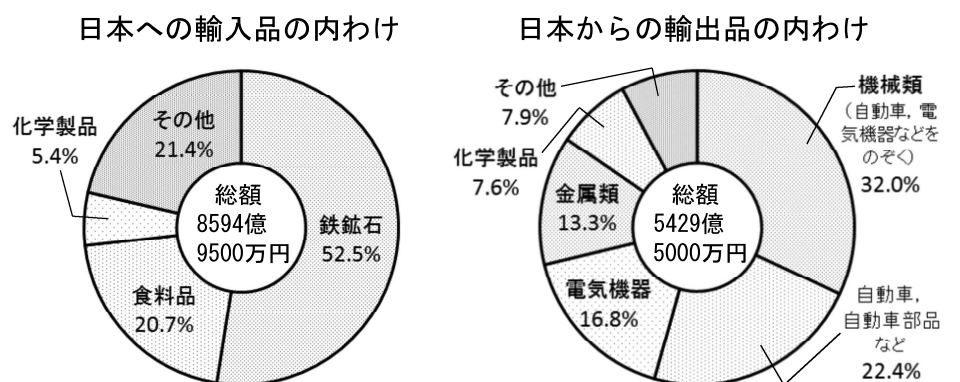


(「理科年表 平成23年」により作成)

(1) 図1を見て、文章にある(あ)には国名、(い)には大陸名、(う)には海洋名をそれぞれ答えましょう。

(2) 下線部aについて、ようこさんとはるみさんが調べてみたところ、図2のグラフを見つけました。このグラフを見た二人は、リオデジャネイロと東京の年間を通じての気温と降水量の変わり方には、ちがいがあること気がつきました。年間を通じての気温の変わり方について、東京と比べたときのリオデジャネイロの特徴を2つ書きましょう。

図3 日本とブラジルの貿易



(「貿易統計」(平成22年)により作成)

(4) 下線部cのように、ようこさんは、『多くの人に支えられてオリンピックに出場することができました。』と話していた選手のインタビューが心に残っている」と言っています。あなたがこれまでに人に支えられていると感じたことを、具体的な場面を取り上げ、理由をふくめて200字程度で書きましょう。

注意

- 1行目の1マス目から書き始めてください。段落を設けずに続けて書きましょう。
- 書き終えたあと、つけ加えたり、けずったりしてもかまいません。そのときは全部消して書き直す必要はありません。次の例のように直しましょう。

(例)

また、今までに**目標**としてきたことを**続ける**生かすことで